

荻窪駅周辺地区まちづくりへのご意見



アンケートでいただいたご意見

アンケートでいただいたご意見をいくつかご紹介します。(一部内容を補足して記載しています。)

- タウンセブンのように普段立ち寄り場所での展示・オープンハウスはとてもありがたい。計画段階で区民に出してもらっていると、まちづくりを自分事のように捉えるきっかけになる。
- 地元の人が動きやすく、負担のないように区の施設などへのシェアサイクルポートを確保してもらえればありがたい。
- 路面案内ステッカー、案内・誘導サインの色、デザインを荻窪三庭園に相応しい落ち着いた色にしてほしい。※荻窪三庭園：大田黒公園、角川庭園、(仮称)荻外荘公園
- まちの中にもっと腰掛けられるベンチのようなものを増やしてほしい。
- 駅南北の分断をなんとかして解決してほしい。

Q & A形式でお答えします

オープンハウス型懇談会でいただいた主なご意見について、お答えします。

Q. 観光案内板はどういった目的で整備するのか。

A. 荻窪地域に点在する歴史的・文化的資源に対して、「場所が分かりにくい」という声以前から寄せられていたり、地域の皆さまからも「よく道を尋ねられる」といったご意見もあることから、その対策として整備するとともに、地域の回遊性向上を図るものです。

Q. グリーンスローモビリティはいつから走るのか。

A. 令和6年12月の(仮称)荻外荘公園開園に間に合うよう運行したいと考えています。

Q. 観光バス乗降所はなぜ必要なのか。

A. 荻外荘には、社会科見学等の団体利用もあると考えていますが、現状では団体バスを止められる環境がありません。そこで、地域交通の支障とならないよう、(仮称)荻外荘公園開園までに、団体バスを止められるようなスペースを整備する必要があると考えています。なお、乗降所は、予約制とするなど円滑な運用となるシステムを検討しています。

Q. 荻窪駅周辺にもシェアサイクルポートを増やしてほしい。

A. シェアサイクルをより利用しやすくするため、公民連携してシェアサイクルポートを増やす取組を進めていきます。



荻窪駅周辺地区まちづくりの取組に関するアンケート結果の詳細



今回実施したアンケート結果の詳細については、杉並区公式ホームページでご覧いただけます。

トップページ>くらしのガイド>まちづくり>まちづくり>荻窪駅周辺まちづくり



【荻窪駅周辺地区まちづくりニュースに関するお問い合わせ】

杉並区 都市整備部 市街地整備課 荻窪まちづくり担当
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
TEL : (代)03-3312-2111 (内線3382、3384) FAX : 03-3312-2907

※「荻窪駅周辺地区まちづくりニュース」は、これまでの「荻窪駅周辺まちづくりニュース」より広範囲に配布しております。



荻窪駅周辺地区

まちづくりニュース 特別号 No.2



発行:令和5年6月

杉並区 都市整備部 市街地整備課

パネル展とオープンハウス型懇談会を開催しました!

日頃より、杉並区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

区では、荻窪の魅力さをさらに高め、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指し、令和6年12月の(仮称)荻外荘公園の開園をきっかけとした荻窪駅周辺地区のまちづくりの取組を地域の皆さまにご紹介するパネル展を開催しました。また、期間中オープンハウス型懇談会を開催し、地域の皆さまと意見交換をする機会をいただきました。たくさんの皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。パネル展等でご紹介したまちづくりの取組は、本紙2、3ページをご覧ください。

今回のまちづくりニュースでは、パネル展等のアンケート結果や、オープンハウス型懇談会でいただいたご意見等をご紹介します。

荻窪地域区民センター会場

パネル展

期 間：令和5年3月21日(火)
～ 令和5年3月26日(日)
時 間：午前9時～午後9時

オープンハウス型懇談会

会場に区職員が立ち会い、意見交換をしました。

期 間：令和5年3月26日(日)
時 間：午前10時～午後5時
参 加 者：約15名

荻窪タウンセブン会場

パネル展

期 間：令和5年3月28日(火)
～ 令和5年4月3日(月)
時 間：午前10時～午後8時

オープンハウス型懇談会

会場に区職員が立ち会い、意見交換をしました。

期 間：令和5年3月30日(木)
時 間：午後1時～午後8時
参 加 者：約80名

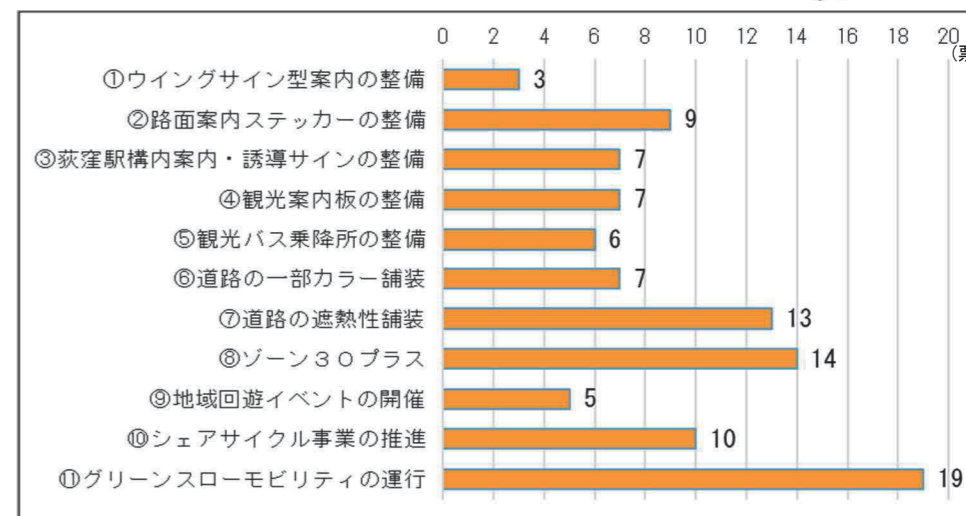
荻窪駅周辺地区まちづくりの取組に関するアンケート結果



地域の皆さまが 関心のある取組

パネル展等でご紹介した取組の中で関心のあるものを選んでいただきました。(最大3つ)

最も票が多かったものは⑪グリーンスローモビリティの運行でした。次いで⑧ゾーン30プラスという結果となりました。



回答者数：52人

今後の荻窪駅周辺地区まちづくりの取組

① ウイングサイン型案内の整備

カーブミラーや街路灯等のポールにウイングサイン型案内表示を取り付け、荻窪駅周辺の公共施設や荻窪三庭園への案内・誘導を行います。



▲参考事例：下井草

② 路面案内ステッカーの整備

道路面に路面ステッカーを貼り付け、荻窪駅周辺の公共施設や荻窪三庭園への案内・誘導を行います。



▲参考事例：山口市

③ 荻窪駅構内案内・誘導サインの整備

荻窪駅構内の案内・誘導サインのデザインを統一し、誰にとっても分かりやすいサインを整備します。



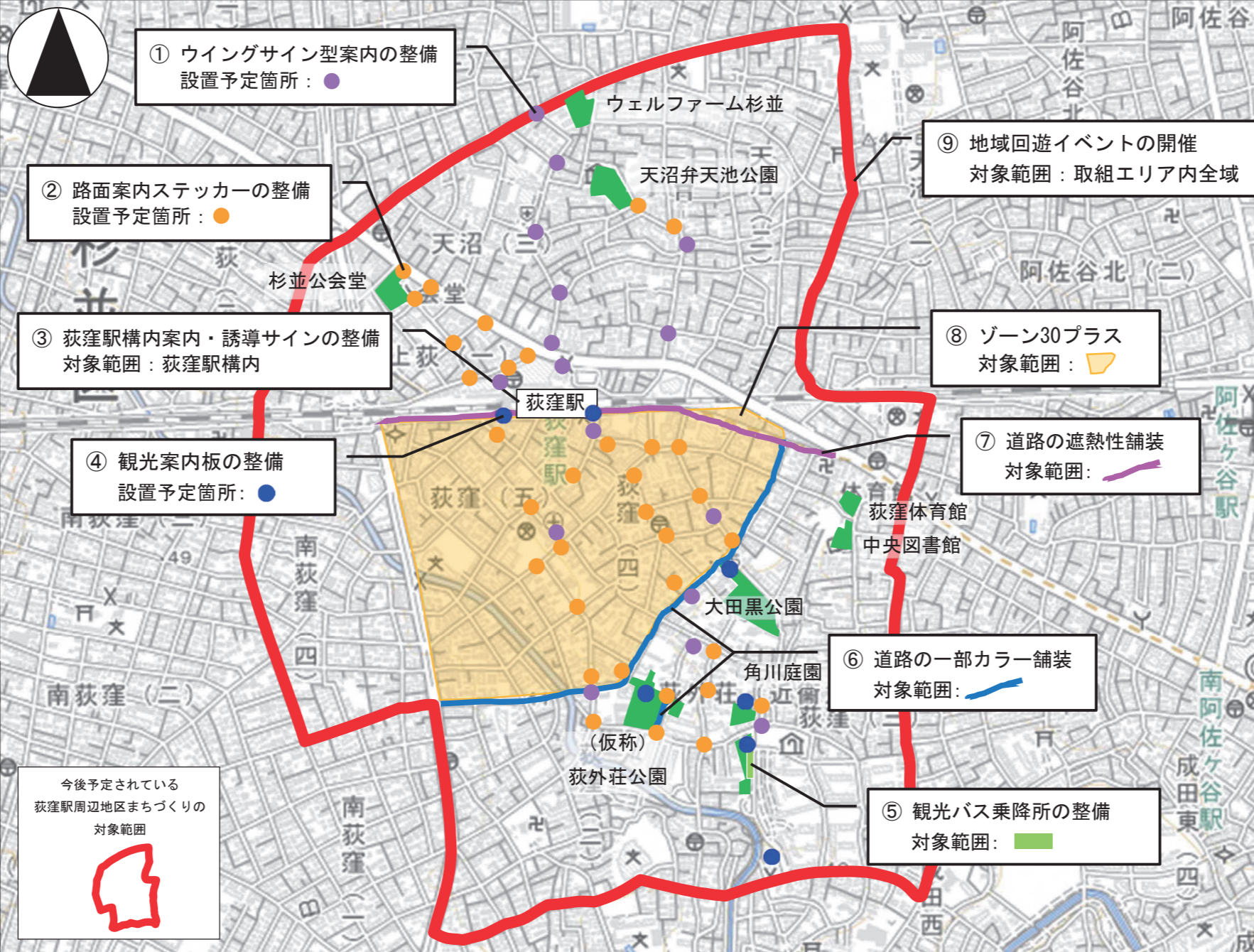
▲サイン例 ▲整備イメージ

④ 観光案内板の整備

荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源の紹介や公共施設への案内を行い、地域の回遊を促しながら、まち歩きを楽しんでもらえるような情報発信を行います。



▲参考事例：世田谷代田の案内板



※取組の内容や整備箇所については計画中のものであり、変更になる可能性があります。

⑤ 観光バス乗降所の整備

まち歩きツアーなどのスポットとして対応できるよう、観光バス等の利用環境の確保に向け、観光バス等の乗降所を整備します。



▲整備場所の候補地

⑥ 道路の一部カラー舗装

道路の一部にカラー舗装を整備します。大田黒公園、(仮称)荻外荘公園及び周辺との一体性や回遊性向上を図ります。



▲参考事例：船橋市

⑦ 道路の遮熱性舗装

荻窪駅南側の駅前通り補助131号線に遮熱性舗装を整備します。遮熱性舗装はヒートアイランド対策として有効な取組です。



▲参考事例：神田駅前

⑧ ゾーン30プラス

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保するための安全対策である、ゾーン30プラスを杉並区内で初めて整備します。



▲出展：国土交通省HP

⑨ 地域回遊イベントの開催

荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を巡る地域回遊イベントを開催します。まち歩きを楽しみながら地域の魅力の再発見や、新しい学びを提供します。



▲歴史的・文化的資源

⑩ シェアサイクル事業の推進

新たな移動手段として公共交通の機能を補完するシェアサイクル事業を推進し、区内公共施設等へのサイクルポート設置を拡充します。



▲シェアサイクル

⑪ グリーンスローモビリティの運行

荻窪のまち巡りや買い物利用等のため、新たな移動手段であるグリーンスローモビリティ（通称：グリスロ）の本格運行に向け取り組みます。



▲荻窪での実証運行（令和4年11月）